

四国の川を考える会
平成27年度 定期総会

平成27年6月25日

四国の川を考える会

四国の川を考える会
平成27年度 定期総会次第

一. 開 会

一. 会長挨拶

一. 来賓挨拶

一. 議 事

1. 平成26年度 事業報告
2. 平成26年度 決算報告及び監査報告
3. 平成27年度 事業計画(案)及び予算(案)
4. 会則の一部改正
5. 役員の変更
6. その他

一. 閉 会

一. 講 演

演題「攪乱で維持される河川の希少植物」
松山東雲短期大学
名誉教授 松井 宏光 氏

1. 平成26年度 事業報告

事業報告

(1) 会議

1) 運営幹事会 (第2回)

開催日 平成26年3月28日(金)～4月7日(月)

場 所 持ち回り会議

議 題

- 1) 平成26年度助成事業について
- 2) その他

2) 役員会

開催日 平成25年6月2日(月)

場 所 サンポートホール高松 65会議室

議 題

- 1) 平成26年度総会について
- 2) その他

3) 総 会

開催日 平成26年8月19日(火)

場 所 高松市 マリンパレスさぬき

議 題

- 1) 平成25年度事業報告
- 2) 平成25年度決算報告及び監査報告
- 3) 平成26年度事業計画(案)及び予算(案)
- 4) 会則の一部改正
- 5) 役員の変更

講 演

演題「川を通じて学んだあれこれ」

阿南工業高等専門学校

建設システム工学科 教授 湯城 豊勝 氏

(2) 広報誌、機関紙の発行

1) 広報誌 “あめんぼWEB版06”

平成26年12月発行

すこやか川散歩 綾川

2) 機関紙 “水紋WEB版” 33号

平成26年12月発行

(3) 広報事業と助成事業

区分	イベント名	河川名	場所	主催者	実施状況
広報事業	第32回ファミリーハゼ釣り大会	吉野川	名田橋～吉野川河口一帯	共催：徳島県釣連盟、四国の川を考える会	平成26年10月12日(日) 216名
助成事業	那賀川源流碑開き	那賀川	那賀川源流碑及び源流モニメント周辺	那賀川アフターフォーラム	平成26年4月13日(日) 約130名
	土器川生物公園魚類調査及び清掃	土器川	土器川生物公園	土器川生物研究会	平成26年11月15日(土) 平成27年3月21日(土) 67名/2回
	第1回浮穴ホタルまつり	重信川	重信川松原泉(重信川緑地公園)	浮穴ホタルの会	平成26年6月14日(土) 約500名
	四万十川水辺88箇所巡り	四万十川	四万十川流域	四万十川自然再生協議会	平成27年2月14日(土) 15名
	さめうら湖で環になろう	吉野川	早明浦ダム湖流域	特定非営利活動法人 さめうらプロジェクト	平成26年8月28日(木) 24名
	宮本武之輔を顕彰する会への活動	—	松山市、新潟県燕市	宮本武之輔を顕彰する会	平成26年8月18日(日) 松山市と燕市の交流イベント 平成26年12月14日(日) 講演会 平成27年1月4日(日) 顕彰碑・銅像清掃活動 他

(4) その他

○ 四国堰堤88箇所巡り完走認定について【報告】

堰堤88箇所巡りの完走認定事業は、平成24年度の総会で承認されて以来、継続して実施。

認定状況としては、平成24年11月に第1号の完走の認定を行った後、昨年の総会時点(平成26年8月)では24名を認定し、その後現在までに7名を加え、本年度総会時点で31名を認定。

2. 平成26年度 決算報告及び監査報告

(1) 決算報告

自 平成26年4月1日 ～ 至 平成27年3月31日

(省略)

(2) 監査報告

(省略)

3. 平成27年度 事業計画（案）及び予算（案）

（1）事業計画（案）

- 1) 機関紙「水紋」をホームページにて公開
- 2) ホームページを活用し、広報誌「あめんぼ」の情報発信を行う。
- 3) 広報事業として「吉野川ファミリーハゼ釣り大会」を行う。
- 4) 助成事業として数件の助成を行う。
- 5) シンポジウム等への参加
- 6) 四国堰堤88箇所巡り完走認定

（2）予算（案）

（省略）

平成27年度「四国の川を考える会」広報事業と助成事業 (参考資料)

区分	イベント名	主催	河川名	目的	内容	開催場所	参加予定人数	開催日
広報事業	第33回フアミリーハゼ釣り大会	共催：徳島県釣連盟、四国の川を考える会	吉野川	自然に親しみ、水に触れ、川に親しみ、関心を持っていただき、みんな考え、川をいっただき、美しく守っていく心を持つてもらう。	一般の部 女性・少年の部 ファミリーの部	名田橋～吉野川河口一帯	約300人～600人	平成27年10月
助成事業	①那賀川源流碑開き	那賀川アフタオーラム 共催：ゆきかう那賀川推進会議 後援：那賀川河川事務所、那賀町、阿南市、阿南商工会議所ほか	那賀川	那賀川アフタオーラムが中心となつて、平成17年10月に那賀川源流に、源流碑を設置した。源流碑にて「那賀川源流の安開きを祈願活動、流域の清流掃活動、小学生に那賀川の上下流り、参加環境保全、啓蒙広報活動を行う。	源流碑及び源流モニメントのPRを通じて、源流域に心をもち、那賀川に対する環境保全、啓蒙広報活動を行う。ト ・源流碑、源流モニメント周辺源流域の清掃活動 ・簡易水質検査パックストによる水質検査 ・上流、下流域小学生的交流促進（校歌の斉唱交換等） ・参加者に記念品として、源流餅を配布し、上流、下流の交流促進。	那賀川源流碑及び源流モニメント周辺（那賀郡木頭北川）	200人	平成27年5月10日(日)
助成事業	②土器川生物公園魚類調査及び清掃	土器川生物研究会 後援：香川河川国道事務所、丸亀市	土器川	土器川の生態系保全及び管理のための基礎データ収集。	生物公園内及び土器川本川の魚類調査を行うと共に、生息域の植生調査及び水質の簡易調査を実施する。また魚類調査に努め、外來魚の駆除を行い生態系の保全に努めている。	土器川生物公園周辺	約40人/回	2回/年 9月～11月 3月

平成27年度「四国の川を考える会」広報事業と助成事業 (参考資料)

区分	イベント名	主催	河川名	目的	内容	開催場所	参加人数	開催日
助成事業	③宮本武之輔を偲ぶ顕彰会	宮本武之輔を偲ぶ顕彰する会	—	明治25年生まれ、昭和61年死去した愛媛県松山市出身(興居川大津分水可動堰建設等、河川工学、コンクリート工学等の教鞭、また宮本武之輔のたどりや業績を認識してもらうための顕彰活動を行う。宮本武之輔の方々の交流を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・例会等：日記などの研究により、人物像を深く掘り下げる。 ・顕彰碑、銅像清掃活動 ・講演会①：昨年度及び今年度について説明する。 ・講演会②：愛媛県の歴史に興味のある方々に宮本武之輔の功績を説明する。 ・交流会：新潟県の方々と今後を語る。県生涯学習センターの愛媛人物博物館のウェブページ及び資料提供を行う。 	愛媛県松山市内	例会等 会員15名 ほか 講演会等 300名	定例会 2ヵ月に1回 講演会2回 交流会1回 資料展示会1回
	④さめうらな北ア～嶺北戦～ろ高魅力アップ	特定非営利活動法人さめうらなエクト	吉野川さめうらな湖	「遊び」を通して、地域のことを呼び、「四国のいのち」と呼ばれることよっての意義を知ることによって、郷土を愛し水源地域の環境を守ることを育んでいく機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> ①さめうらな湖及び周辺資源の有効活用に関する調査研究 ②青少年の健全育成、社会教育の充実 ③地域内外の交流促進、ネットワークの拡充 ④上記活動により水源地域の活性化を図る。 	①ウォータースポーツ体験（フライトボード、水上バイク体験乗、SUP、カヌーなどの水辺のアクティビティ） ②地域食材の試食会 ③ワークショップ	高知県大川村、土佐町（さめうらな湖流域）	約30名

平成27年度「四国の川を考える会」広報事業と助成事業 (参考資料)

区分	イベント名	主催	河川名	目的	内容	開催場所	参加予定人数	開催日
	⑤ 江川・吉野川の環境全考の未来を考えるシンポジウム	NP0法人江川エコフレンド	江川・吉野川	江川が本流から完全に分離され、徳島県天然記念物として選ばれる。江川や野流の集いの保全会、また、筑後川流部を流交	① 江川湧水源と吉野川のつながりの歴史を学ぶ ② NP0法人江川エコフレンドの活動報告 ・江川湧水源での環境美化保全への取り組み ・中学生の江川鴨島公園一帯の環境美化・保全への取り組み ③ 取り組み紹介 他 ・奉仕橋かもクラブと吉野川高校生の「江川ゆうねんの河川敷公園作り」 ・筑後川流域倶楽部や利根川地域交流会の取り組み 他 ④ 現地視察	鴨島公民館 わくわくホール 他	400名	平成27年8月29日(土)30日(日)
助成事業	⑥ 美馬市水辺の祭	美馬市水辺の祭実行委員会	吉野川、中川	現在河川健康支援中心の一り光と	地元で活動する団体が、当日イベントを開催する。 ・芝桜鑑賞会 ・パークゴルフ大会 ・健康ウォーキング ・産直市、バザー ・キッズ広場(ストラックアウト等) ・もち投げ ・お茶会 ・防災訓練 ・野鳥観察会	美馬市水辺の祭 (水辺の祭 校中鳥川公園、防災センター、吉野川、川敷)	300人	平成27年4月19日(日)

4. 会則の一部改正

○ 会則の一部改正として、会計年度の変更を提案いたします。

【現行】

第6章 会計

(会計)

第20条 本会の会計は、事務局が処理する。

- 2 事務局は、当該年度の決算を本会総会に報告し、その承認を受けなければならない。
- 3 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月末日に終わるものとする。

【改正案】

- 3 本会の会計年度は、毎年6月1日に始まり翌年5月末日に終わるものとする。

※1 改正理由

助成事業の決定手続きと会計年度の整合性を図るため。

※2 会則改正後の移行期間の取り扱い

(助成事業の募集)

来年度の募集時(H28.3)には、平成28年4月から平成29年5月末までの14ヶ月間内で実施する助成事業の募集とする。

(予算決算期間)

平成27年度予算は、現在は3月末までの予算編成としているが、平成28年5月末までの予算(14ヶ月)とし、平成28年4月から5月の2ヶ月間の必要経費(助成事業等)については、予備費で支出するものとする。

5. 役員の変更

・役員

役職	役員名	新
会長	鈴木 幸一	
副会長	三谷 健	
	武藤 裕則	
顧問	三井 宏	
	福田 昌史	
理事	井下 俊作	
	菊池 弘美	
	公文 治夫	
	大谷 博信	
	工藤 建夫	
	四国治水期成同盟連合会 上田 信幸	
	四国電力株 大原 隆司	
	(財)河川情報センター 大澤 敏之	

監 事	香川県河川協会 佐柳 和宏	○
	電源開発(株) 池口 幸宏	

・ 運営幹事

運 営 幹 事 名	新
四国電力(株)- 大原 隆司	
電源開発(株) 池口 幸宏	
公文 治夫	
五藤 隆彦	
香川県土木部 河川砂防課長 氣多 拓夫	
四国地方整備局河川部 河川情報管理官 鷺津 隆廣	○

・ 参 与

参 与 名	新
徳島県土木整備部 河川整備課 北川 政宏	○
香川県土木部 河川砂防課長 氣多 拓夫	
愛媛県土木部 河川課長 参川 好記	
高知県土木部 河川課長 濱田 耕二	
四国地方整備局河川部 河川情報管理官 鷺津 隆廣	○

6. その他

1) 会員の動向について

区 分	一般会員	特別会員	計
平成 26 年 8 月 19 日 (H26 総会)	8 2	7 6	1 5 8
新規会員	5	0	5
退会会員	5	2	7
平成 27 年 6 月 25 日現在 (H27 総会)	8 2	7 4	1 5 6

2) 会員アンケート結果

平成 26 年 6 月に実施した会員アンケート結果の概要については、次頁に示すとおり。

会員アンケート（H26.6 実施）結果の概要

【設問 1】会の運営状況に対する意見

アンケート 発送数(A)	158	アンケート 返却数(B)	97	返却率 (B/A×100)	61.4%
(重複5)		設問1 記入者数(C)	12	回答率 (C/B×100)	12.4%

<広報関係>

- ・ 広報誌「あめんぼ」、機関誌「水紋」に経費がかかり過ぎ。統合、発行回数などの見直しによりコストを抑制してはどうか。（複数の同主旨の意見あり）
- ・ あめんぼ、水紋を Web 版で継続するのであれば、もっと一般の人に見てもらおう工夫が必要。
- ・ 特別会員のPRが必要（あめんぼ、水紋、HP 等）等

<助成事業>

- ・ 助成事業を増やすことが必要。
- ・ 助成事業よりは、広報事業（吉野川ハゼ釣り大会）のように共同イベントの方がアピールできるのでは。

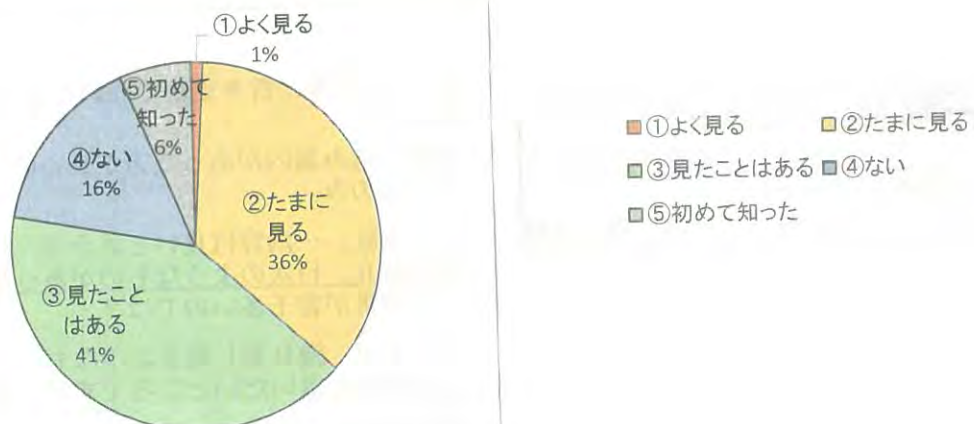
<その他>

- ・ 会員が中心になって行う事業（道路のクリーンウォークの事例）を企画すれば、会員も入会している実感が出て、愛着が出てくるのではないか。

【設問 2】ホームページに対する意見

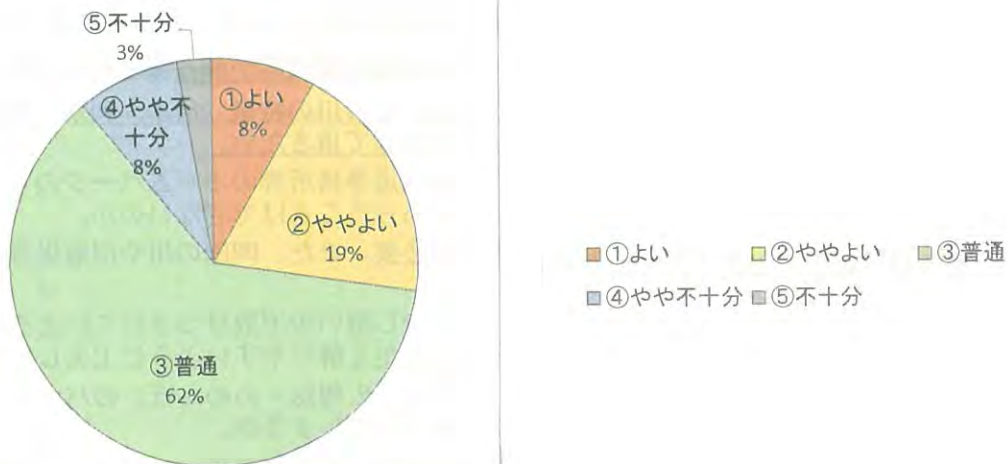
○ 見たことはあるか。

アンケート 発送数(A)	158	アンケート 返却数(B)	97	返却率 (B/A×100)	61.4%
(重複5)		設問2 記入者数(C)	95	回答率 (C/B×100)	97.9%



2-1 ホームページの充実度

アンケート 発送数(A)	158	アンケート 返却数(B)	97	返却率 (B/A×100)	61.4%
(重複5)		設問2-1 記入者数(C)	73	回答率 (C/B×100)	75.3%



2-2 ホームページへの改善意見等

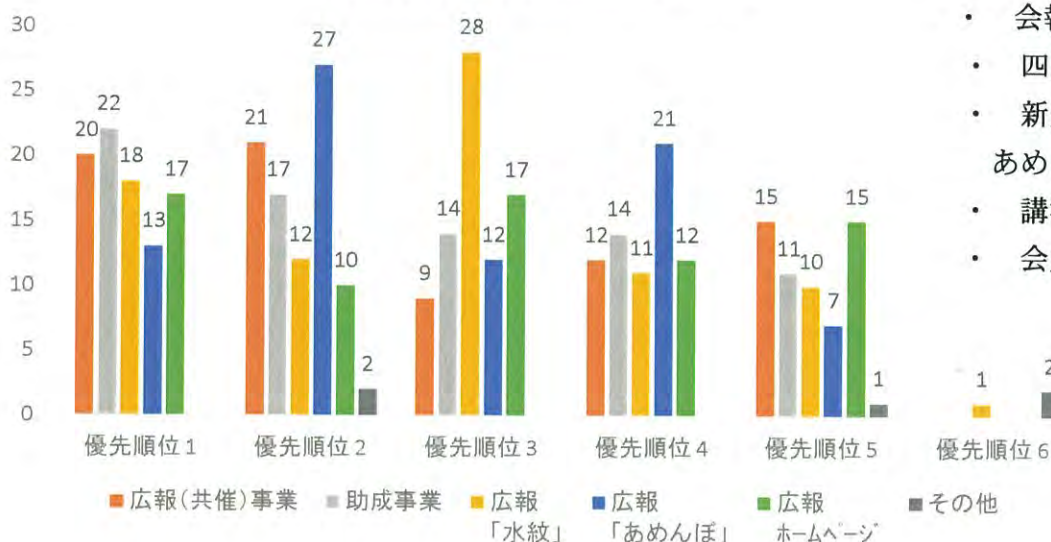
アンケート 発送数(A)	158	アンケート 返却数(B)	97	返却率 (B/A×100)	61.4%
(重複5)		設問2-2 記入者数(C)	24	回答率 (C/B×100)	24.7%

- ・ タイムリーな情報発信。イベント開催結果の随時更新。データの随時更新が必要。
- ・ 会員の方々が、川に関して取り組まれているイベントもHPで紹介しては。川に関する投稿記事の掲載など。
- ・ 四国地整、直轄事務所等のHPのリンク集に当会のHPを掲載してもらう。
- ・ トップページの内容が弱。情報量を増やすとかリンクを張るなどの改善が必要。
- ・ HPに入会申し込み案内があった方がよい。
(その他意見多数)

【設問3】会の活動についての優先順位

アンケート 発送数(A)	158	アンケート 返却数(B)	97	返却率 (B/A×100)	61.4%
(重複5)		設問3 記入者数(C)	88	回答率 (C/B×100)	90.7%

会の活動 優先順位別グラフ



その他（具体的に）

- ・ 会報誌の郵送
- ・ 四国のみずべのPR
- ・ 新規会員増大のため
あめんぼの印刷も必要
- ・ 講演会などの企画
- ・ 会員のイベント参加

【設問4】その他、会の運営に対する意見・要望

アンケート 発送数(A)	158	アンケート 返却数(B)	97	返却率 (B/A×100)	61.4%
(重複5)		設問4 記入者数(C)	17	回答率 (C/B×100)	17.5%

<全般>

- ・ 当会の認知度を上げる取り組みが必要。
- ・ 「四国の川」のファンは全国に多いため、入会条件を拡げたこと、また、地道な活動内容を地整や各県のHP等で広報してはどうか。
- ・ 一般会員の拡大。一般会員の会費を少し上げるべき。

<助成事業>

- ・ 助成事業の固定化しており、現在のものは広報事業に位置づけ、助成事業は新規募集により、タイムリーなテーマに対して、年数を決めて助成してはどうか。
- ・ 助成事業の実施においては、会員も参画すべき。
- ・ 子供の活動を支援する事業を実施したい。
(その他意見多数)

1. 平成26年度事業報告
 - ・ 原案どおり承認。
2. 平成26年度決算報告及び監査報告
 - ・ 原案及び監事の監査報告どおり承認。
3. 平成27年度事業計画（案）及び予算（案）
 - ・ 原案どおり承認。
 - ・ なお、機関誌「水紋」については、従来の Web 版発行から事業報告等をその都度掲載する方式への変更提案を行い、原案どおり承認。
4. 会則の改正
 - ・ 会計年度の変更(本会の会計年度は、毎年6月1日に始まり、翌年5月末日に終わる)提案について、原案どおり承認。
5. 役員の改選等
 - ・ 役員の改選は、三谷副会長をはじめ、菊池理事、公文理事、大谷理事、工藤理事、大澤理事の6名の方が改選対象となり、6名全員の継続就任とする原案のとおり承認されました。
6. その他
 - ・ 会員の状況や昨年実施した会員アンケート結果の報告があり、報告どおり承認されました。

講演

演題「攪乱で維持される河川の希少植物」

松山東雲短期大学

名誉教授 松井 宏光 氏

- ・ 河川と植物の関わりも含めて、生物の多様性を保持していくためには、維持管理が必要不可欠とのご講演並びにご教示等を頂きました。会員の皆さんの間でも、大変興味深く聞き入り、認識を新たにされるなど大変好評でありました。